

メキシコ独立記念特別プログラム“グリート”が行われました

9月11日(水)、ANAクラウンプラザホテル広島において、メキシコ大使館並びに在広島メキシコ名誉領事館の主催で、「メキシコ独立記念特別プログラム“グリート”」が、メキシコ大使館よりアジア・太平洋地域担当のエクトル・コルテス公使が来広されて、行われました。

“グリート”とは、独立の父とされる司祭 ミゲル・イダルゴによって、グアナファト州の小さな町ドローレスで発せられた独立の叫びのことで、メキシコでは、独立記念日の前日、9月15日の夜11時に各地の広場などで行われているそうです。

広島では、初めての“グリート”でしたが、約30名の参加があり、そのうち10名のメキシコ人が参加して執り行われ、厳粛かつ力強く、独立記念日をお祝いいたしました。

終了後には、マリアッチ・アガベが登場し、お祝いに花を添えました。



メキシコ国旗を受け取り“グリート”を行うエクトル・コラレス公使



“グリート”の参加者



参加者の前で演奏する“マリアッチ・アガベ”



“グリート” 終了後、メキシコ人参加者の記念撮影